



スポーツ感覚でごみ拾いする参加者—天童市

楽しみながら地域美化

天童「SDGs×スポGOMI」体験会

一定時間内に拾ったごみの種類と量を競う「SDGs×スポGOMI」の体験
 会が24日、天童市の県青年の家周辺で開かれ、生徒たちがスポーツ感覚で地域の

美化に努めた。

村山地方の中高生34人が12班に分かれて活動した。制限時間1時間で、拾ったゴミの重さや8カ所所で出題されたクイズの正解数に応じてポイントが振り分けられる仕組み。生徒たちは道路脇に落ちていたペットボトルや空き缶、たばこの吸い殻を拾い集めたり、クイズに挑戦したりし、合計ポイントを競い合った。

県青年の家がコーディネートするボランティアサークルで、小児がん治療への支援を目的とした「レモネードスタンド活動」に取り組んでいる「nicoこえ」のメンバー8人も運営スタッフとして参加。ごみ拾いを終えた参加者にレモネードを振る舞い、支援活動をPRした。

青少年のボランティア活

動を推進するとともに、SDGs（持続可能な開発目標）への理解を深めてもらおうと、県青年の家が主催し、美しい山形・最上川フオーラムが共催した。

（落合慶）